

平成23年度

お茶の水女子大学
特別入試学生募集要項
アドミッション・オフィス入試
(A O 入 試)



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

☎ 03 (5978) 5151~2 (入試チーム)

HP <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

目 次

I 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	
1. 本学の教育理念とAO入試の趣旨	1
2. 求める人物像	1
3. お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー	1
4. 学部のアドミッション・ポリシー	2
II 学科の受入方針	3
III A O 入 試 学 生 募 集 要 項	
1. 募集人員	7
2. 出願要件	7
3. 出願手続	8
(1) 出願上の注意	8
(2) 出願期間	8
(3) 出願方法	8
(4) 提出書類等	8
(5) 心身に障害等のある入学志願者の出願	9
4. 選抜方法	9
5. 大学入試センター試験の受験について	10
6. 合格発表等	12
7. 個人情報及び試験成績の利用について	12
8. 入学手続	12
9. 注意事項	12
10. 調査書の開示について	13
11. 大学案内の請求	13
12. 平成24年度以降AO入試に関する変更の予告	15
IV その他の案内	19

I 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 本学の教育理念とAO入試の趣旨

多様化しグローバル化する社会では、たしかな専門的知識とともに、それを人に伝えるコミュニケーション力や応用する実践力が求められています。女性は、仕事、家庭、地域社会といったさまざまな場での活躍が期待され、その社会的影響力は大きなものがあります。

お茶の水女子大学では、女性の能力開発とリーダーの育成を教育目標に掲げ、さまざまなプログラムを設けています。専門的な知識を多様な場で使いこなせる土台を育成するための「文理融合21世紀型リベラルアーツ」科目群を平成20年度から新設しました。さらに、リベラルアーツを踏まえた高度な専門教育をすすめ、創造性と実践性を備えた専門基礎力を持つ女性の育成を実現するために、学生主体の「専門教育複数プログラム選択履修制度」を平成23年度から開設いたします。国際的な場で活動する人材を育成するための語学教育、国際学、多文化交流などのプログラムを強化し、海外の交流協定校への留学を推奨しています。これらの基礎となる情報収集力や発信力を高めるため、希望者に対するノートパソコン貸与事業を開始しました。「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」では、大学院生・学部学生向けに、将来の女性リーダーを育成するために各種の講座を開講し、研究、行政、産業界など各方面で活躍する女性リーダーを講師に招いて女性の将来像を提示するとともに、実践的な指導も行っています。

「学際性」と「国際性」をもった将来の女性リーダーには、通常の学力試験には表れない総合的な力（ポテンシャル）が重要であると考えます。このような資質をもった学生を、広く各地から選抜するため、AO入試を行います。

2. 求める人物像

○本学での勉学に強い意欲と専門性を磨いていくために必要となる十分な基礎的学力をもっている。

これに加えて、以下の項目のいずれかひとつ以上に当てはまる方を求めています。

1. 知識や意見を人に伝え、実践するためのコミュニケーション能力や応用力を備えている。
2. 真理の探究に対する憧憬と文・理双方への興味・関心をもっている。
3. 自分の将来と社会の未来へのビジョンを明確にもっている。
4. グローバルな視野をもって思考し、国際的な場での活動を希望している（活動の場は国内国外を問わない）。

3. お茶の水女子大学のアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、幅広い教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため不断に教育改革を進め、文理融合リベラルアーツ教育の導入（平成20年度）に引き続き平成23年度からは複数プログラム選択型専門教育をスタートさせます。本学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

4. 学部のアドミッション・ポリシー

<p>文 教 育 学 部</p>	<p>人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多次元的なアプローチが必要です。文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。文教育学部は、人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科という多彩な学科を持ち、少人数教育によって、専門的に深く、また総合的に広く学ぶためのカリキュラムを準備しています。各学科には複数の専門コースと3つの学科（人文科学・言語文化・人間社会）にまたがるグローバル文化学環があります。</p> <p>高校での学習は、入試で合格するために必要なのではなく、その後の人生を「よく生きる」ためのものです。本学部志望者には、高校において文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどん欲に深く学習することを望みます。多様な領域でのリーダーを目指し、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望されることを期待します。</p>
<p>理 学 部</p>	<p>理学部とは、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の探究を行うところです。本理学部は、数学、物理学、化学、生物学、情報科学の5学科からなり、少人数ゆえのきめ細かな指導により、高水準の教育・研究を行ってきており、数少ない女子大学の理学部として多くの有為な人材を養成してきました。最近ではさらに大学院に進む者も多く進学率は6割を超えています。</p> <p>このような教育研究の場には知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。</p> <p>本学部志望者には、高校において理系科目（数学、理科〔物理、化学、生物〕）を学び、自然科学の考え方や基礎知識を習得することはもちろんのこと、文系科目（国語、社会、英語）も幅広く履修し、論理的思考力を身につけるとともに筋道の立った文章が書けるようになることなどが望まれます。</p>
<p>生 活 科 学 部</p>	<p>現代のわたしたちの日常生活は、日々、地球規模の変化と連関の中で営まれており、あらゆる場面で持続可能性が問われています。生活の質と作法を再検討し、現代にふさわしい価値と規準を発見し創出することは、まさに時代の要請だといえます。</p> <p>生活科学はこの要請に応えるために、食の科学と健康、人間と環境、人間の発達と心の健康、人間生活と社会、人間生活と文化に関する諸問題を、高度に専門分化した学知を結集して、生活者の視点から多面的かつ総合的に解明することを目指しています。</p> <p>生活科学部の特徴は、第1に、このような文理融合の総合応用科学としての生活科学を学ぶ点にあります。第2に、(1)高密度の講義、(2)少人数の実験・実習・演習、(3)個別的な卒業論文指導を軸とする少人数教育にあります。また特に家庭科の教員免許を取得しやすいカリキュラムになっていることも生活科学部の特徴の一つです。</p> <p>生活科学部は、人間と生活と環境を分析的かつ総合的に理解する技法を学び、専門的学知に裏打ちされた確かな教養と豊かな構想力を身につけ、将来、社会の多方面で活躍する女性リーダーを育成することを使命としています。</p> <p>高校での学習はすべての科目が、大学での勉学に必要な基礎です。志願学科の別を問わず、家庭科・芸術科目・保健体育も含め、オールラウンドの学力を身につけておくことを望みます。</p>

II 学科の受入方針

文教育学部

【人文科学科】

人文科学科は、人類のさまざまな歩みのなかから、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけだし、必要な資料・データをねばり強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

高校では、さまざまな教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心をもったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探求の面白さを経験してきていただきたいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある学生の皆さんの入学を希望します。

人文科学科には、哲学・倫理学・美術史コース、比較歴史学コース、地理学コースの3つの専門コースがあり、入学後、自分がなにを学びたいのかを見極め、2年次からいずれかのコースに進学することになります。AO入試では、英・数・国の基礎学力をバランスよく備え、自分の将来像をある程度、具体的にもっている学生を望みます。

【言語文化学科】

言語文化学科には、日本語・日本文学コース、中国語圏言語文化コース、英語圏言語文化コース、仏語圏言語文化コースの4つの専門コースがあります。これらのコースにおいては、当該の言語の深い理解と高度な運用能力を身に付けることを目指し、またそれぞれの言語圏の文学や文化の本格的な分析を行います。そのためこの4つのコースのいずれにおいても、文理両分野における十分な基礎学力と、旺盛な知的的好奇心と、言葉への強い愛着を持った学生を求めます。入学後は一般入試で入学した学生と同様、1年次末に最終的に進学する専門コースが決まります。

【人間社会科学科】

人間社会科学科では、人間について深い理解を持ち、その理解を現実的な場面で役立てていこうとする意欲ある人を求めます。当学科には、人間の意識や行動の社会的側面を考えたり（社会学コース）、心理的側面を考察したり（心理学コース）、人間の発達について多角的に考える（教育科学コース）という、3つの研究領域がありますが、共通しているのは、自分を含めた「人間」に対するあくなき好奇心です。人間に関わる諸問題を学問的に解明したり、そこで得られた知識を実際に役立てていきたいと考える学生の進学を期待します。

高校ではさまざまな教科や科目について幅広く学んでください。特に、国語・英語（外国語）・数学は、大学での学習と研究にとってたいへん重要な基礎的能力を育成するのに必要です。

このほか地歴・公民や理科の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。入学後は一般入試で入学した学生と同様、1年次末に最終的に進学する専門コースが決まります。

（グローバル文化学環について）

文教育学部では平成17年度から「グローバル文化学環」という新しい名称の共通進学コースを設置しました。この学環は、グローバル化する現代社会のなかで、国際協力やビジネス・学校教育・地域社会など、さまざまな場で活動するための知識と態度を育成することを目的にしています。

その特徴は、文教育学部の3つの学科（人文科学・言語文化・人間社会）のいずれからでも2年次に進学でき、主専攻にすることができることです。また、専門コースに進学した学生も、グローバル文化学の専攻科目を副専攻として履修することができます。

この学環への進学を希望する学生は、自分の関心や得意分野にそって、受験する学科を選んでください。カリキュラムなど、さらに詳しい情報を知りたい人は、文教育学部のホームページにアクセスしてみてください。

理 学 部

【数 学 科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられると考えます。

本学AO入試で求める人物像に加えて、上記のような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

- ・教師や研究者のように数学を職業としたい人
- ・数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人
- ・とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

受験生に求めるのは以下の事です。

- ・高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。
- ・文章から数学的な意味を読み取ることができる。
- ・自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

【物 理 学 科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します。（もちろん、必要になれば教員の適切な助言および指導を受けることができます。）また、豊かな人間性ととも、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。しかしながら究極的には、「物理学を学んで生き生きと充実した人生を送ること」が最も大切と考えています。

AO入試では、自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望しています。このため、物理学へ強い興味を持ち、物理コンテストなどへ積極的に参加した実績を重視します。大学での物理の授業を履修するうえで、高校での物理および数学の十分な習得は必須ですので、これらの科目は指定科目になっています。

【化 学 科】

化学科の志願者は、まず、化学に深い関心を寄せ、学びへの強い意欲と情熱を持つことが必要です。化学は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に協力して発展するものであり、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野まで広がっています。したがって、高校では化学のほかこれら基礎となる科目、特に、物理・生物を幅広く履修して、論理的かつ理知的な思考力や自然科学の基礎知識をしっかりと体得しておくことが前提となります。また、英語で書かれた文献を読みこなす語学力も要求されますので、高校での英語の十分な学習が必要です。入学後には、専門の学習や研究の基盤となる実験能力を養うため、学生実験を重視しており、1年次から3年次にわたり幅広い学生実験を必修として課しています。化学への強い興味と学習意欲に加えて、実験が好きで主体的に取り組む学生を望みます。

【生 物 学 科】

生物学は、微生物からヒトまで、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのため、いろいろな視点から考える柔軟な思考力とそれを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーをもつ学生を希望します。

“生き物”に関する理解と関心を深め、人間社会により豊かな知の財産を築ける人に育つことを期待しています。

AO入試では、生物だけでなく、自然科学を広く学習して、科学的基礎知識や考え方を備えるとともに、論理的思考や知的好奇心を育てていることを希望します。生物学のさまざまな領域において強い好奇心や疑問を持ち、積極的かつ行動的に自ら探究した経験（自由研究や参考文献の調査など）を評価しますので、志望理由書及び活動報告書に記載してください。入学後は、生物学科のカリキュラムにしたがって、幅広い分野の生物実験科目を履修して生物学の専門性を高めることを希望します。

【情報科学科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」とよばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進学してきてほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。

情報科学を通じて21世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそういわれて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。

一方、AO入試のかなめは国際性と学際性です。国際性とは、国際社会で自分の考えを堂々と議論できることですが、そのためには、当然ですが、国際レベルで通用する内容を自分が持っていることが前提です。情報科学科の先輩たちの中には、有名な国際会議において自分の研究を発表してきた人達も少なくありませんが、これも深い専門的素養を身に付けた上でのたゆまない研究が可能としたものです。なお、情報科学では、ほとんどの新しい知識は英語で発信されるので、普通に情報科学を学ぶのにも、基本として英語の実力が不可欠です。

次に学際性ですが、これは一つの専門分野に閉じこもらず、広くいろんな分野に通ずることを意味します。実はこれも、情報科学と言うものの性格から、普通に必要とされる態度です。コンピュータを用いた解析は、今や伝統的な科学的計算の分野はもちろんのこと、CGによる芸術創造、文学作品の特徴抽出、インターネットの情報分析による社会の動向予測、化学物質の膨大なデータを処理した新薬の開発アシストなど、あらゆる分野で、使われているという表現を越えて、むしろ無くてはならないものとなっています。情報科学科の卒業生たちは、就職してどのような場所で自らの知識と技術を活かすことになるか分からないので、普通に入学した人達に対しても広く学ぶという意味での学際性を要求してきました。

AO入試の目的の一つはジェネラリストの養成ですが、よく言われるように、本当にものの分かったジェネラリストになるには、ある一つの分野で専門家に匹敵する習練を積み研究活動を経験する必要があります。AOで合格し、情報科学科に所属してAOの目的を貫徹しようと思ったら、まずは一般の入学者と同様、情報科学の専門教育に励むことが必要です。入試の要件に数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、Cの全てを課しているのは、これを可能にするために最低限必要なことであり、講義や演習もこれらを習得していることを前提にして行われます。

さらにその上で、今までの情報科学の先輩たちの中でもっとも活躍している人達を目標にして、国際性と学際性に磨きをかける努力を一般の学生以上にしてください。理科の少なくとも一科目でⅠ、Ⅱを要求しているのは、学際性を支える最低の要件であり、その趣旨を全うするためには、本当は、少なくとも理科3科目でⅠ、Ⅱを履修してきて欲しいところです。現に、情報科学科では、遺伝子情報のデータ解析や、物理・科学現象のシミュレーションを行っている研究室もあり、そのような講義も開かれているので、情報科学に関連した広い知識や方法論を学ぶ環境は整っていますが、高校レベルの理科の知識を大学に入ってから自分で補うのはなかなかやさしいことではないでしょう。

高校で意欲的に学んできた、やる気に満ちた学生を歓迎します。

【食物栄養学科】

食物は人間が生きていくために必要であり、おいしい料理や豊かな食生活はわれわれの生活にうるおいと楽しさを与えます。一方で、偏った食事や不規則な食習慣はさまざまな疾患の原因となって、われわれの健康に影響を及ぼします。食物と人間および健康は時代を問わず、社会の人々から大きな関心もたれています。

本学科は、豊かな食生活や健康な社会の実現に向けて、食物と栄養に関する科学的視点と実践力を身につけた社会のリーダーとなる専門家の育成をめざしています。そのために、本学科では、食品化学、食品貯蔵学、調理科学、栄養化学、臨床栄養学、応用栄養学、栄養教育学、給食経営管理学、公衆栄養学などさまざまな学問分野において、遺伝子レベルから人間栄養学的なものまで幅広く教育研究を行っています。少人数教育による実験実習を重視し、卒業研究では、全員が食物栄養学科や生活環境教育研究センターの各研究室で、特定のテーマについて研究を行います。また、本学科を卒業すると、栄養士免許が取得できるのと同時に、管理栄養士の国家試験受験資格が得られます。

本学科の教育研究は自然科学を基盤とするため、高等学校において化学、生物、物理などの自然科学の基礎をしっかり学習していることを望みます。具体的には、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを、理科については物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱのうち2科目以上を履修しておくことを求めます。また、数学Ⅲ・Cについても履修していることを望みます。食物や栄養、健康に強い関心を持ちそれを社会に還元しようとする意欲のある人には最適な学科です。

【人間・環境科学科】

人間は、利便性、快適性、安全性などを追求し、身の回りの環境を常に変えて来ました。食糧は豊富になり、暮らしは便利になり、病気が減り寿命も延びました。しかしその反面、環境のあまりに大きく急速な変化に対して人間が適応できず、人類の存続にも影響する様々な問題も生じてきています。これに対して本学科では、「人間にとっての環境、環境にとっての人間」という視点に立ち、人間と環境の相互の働きかけを具体的に評価・設計・提案し、よりよい生活環境を創造するための研究と教育を行っています。

本学科の柱となる学問分野には、自然人類学、人体生理学、人間工学、福祉工学、環境機能材料学、環境化学、環境衛生工学、建築学などがあります。自然科学の好きな人、人間と環境にかかわる基礎的な科学を十分に学び、深く研究してみたい人、専門家として真に健康で豊かな生活を構築するために寄与したいと考えている人を、本学科は歓迎します。志望される方は、高等学校において理数系の基礎をしっかりと履修していることを望みます。具体的には、数学については数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bを、理科については物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ、地学Ⅰ・Ⅱのうち2科目以上を履修しておくことを求めます。また、数学Ⅲ・Cについては履修していることを望みます。

【人間生活学科】

人間の生活は、生涯にわたる人間の発達、生活を営むための人間社会のあり方、民族、歴史や伝統、文化などさまざまな面が相互に関連した、複雑で総合的な営みです。高度に複雑化した現代社会においては、この複雑な人間生活の営みを総合的に理解し、人間が生涯を通して生き生きと生活できるための条件や社会の仕組み、文化のあり方を明らかにし、それを実現する人材が求められています。

人間生活学科では、こうした豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、相互に関連する3つのアプローチによって目指しています。①人間の生涯発達にかかわる発達心理学・臨床心理学・保育学的理解と実践の連携、家庭や保育あるいは心理臨床などの現場に役立つ理解—発達臨床心理学講座、②地域社会から国際社会まで、多元的な社会環境を視野に入れ、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、政策の問題など、生活と社会及びその関係についての社会科学的理解—生活社会科学講座、③人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインを中心とする生活造形を対象とし、生活文化の歴史と現在について、美学的・比較文化的・民俗学的理解—生活文化学講座の3つです。こうした課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意をもっている人には、ぜひ人間生活学科で学んでほしいと思います。

志望される方は、人間生活学科の3つのアプローチを踏まえ、高等学校において地理歴史・公民の諸科目など文科系の基礎を幅広く履修していることを望みます。

III A O 入試学生募集要項

1. 募集人員

受入学部・学科	文教育学部：人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科 (グローバル文化学環を含む) 理学部：数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科 生活科学部：食物栄養学科、人間・環境科学科、人間生活学科
募集人員	全学で計10名以内
出願資格	次の①～③の全ての要件に該当する女子。 ①高等学校若しくは中等教育学校を平成21年3月以降卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者。(注：8ページ参照。) ②お茶の水女子大学での勉学を強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ③調査書の学習成績概評がA段階に属する者。(受入学部・学科によっては出願要件が付加される場合があり、これについては下記を参照)

2. 出願要件

部	学 科	出 願 要 件
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	特になし。
	言 語 文 化 学 科	出願時までに履修済みの国語、数学、外国語の3教科の評定を平均した値が4.3以上であること。
	人 間 社 会 科 学 科	入学時までに数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの単位を修得すること。かつ、そのうち出願時までに履修済みの科目の評定を平均した値が4.0以上であること。
理 学 部	学科別に指定されている下記の科目について、履修し単位を得ているか、もしくは入学時までに単位を修得見込みであるもの。下表について付加要件がある学科についてはそれを満たすこと。特記事項がある学科についてはそれに十分留意すること。指定科目のうち出願時に評価がなされているものについては、それらの評定を平均した値が4.5以上であることが、合格判定基準の一つになる。	
	数 学 科	指定科目：数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C 付加要件：数学を学ぶ意欲について高いポテンシャルをもち、合宿形式のセミナーである「湘南数学セミナー」(日本数学会主催)、「女子高校生夏の学校」(日本数学会共催)への参加、日本数学オリンピックAランク者のいずれか1つ以上の実績があること。
	物 理 学 科	指定科目：物理Ⅰ、Ⅱおよび数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C 付加要件：物理学に強い興味があり、全国物理コンテスト「物理チャレンジ」、国際物理オリンピック、あるいは日本物理学会が共催(または主催)する物理に関する合宿形式のイベント(サマースクールなど)への参加の実績が1つ以上あること。
	化 学 科	指定科目：化学Ⅰ、Ⅱ、数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C、ならびに物理(Ⅰ、Ⅱ)または(生物Ⅰ、Ⅱ)の2組のうちのいずれか1組。 特記事項：化学を学ぶ高い意欲があること。また入学後化学科では、幅広い分野の化学実験科目を履修する必要があることに留意すること。
	生 物 学 科	指定科目：生物Ⅰ、Ⅱ、数学Ⅰ、Ⅱ、A、B、ならびに(物理Ⅰ、Ⅱ)または(化学Ⅰ、Ⅱ)の2組のうちのいずれか1組。
	情 報 科 学 科	指定科目：数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C、ならびに(物理Ⅰ、Ⅱ)、(化学Ⅰ、Ⅱ)、(生物Ⅰ、Ⅱ)の3組のうちのいずれか1組。

生活科学部	食物栄養学科	特になし。
	人間・環境科学科	特になし。
	人間生活学科	特になし。

注：AO入試に出願する者については、高等学校のほか高等専門学校及び高等部を置く盲・聾・養護学校長並びに文部科学大臣から高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定された在外教育施設出身者を含む。

3. 出願手続

(1) 出願上の注意

- ① 出願にあたって、入学後に所属する学部・学科を願書に記載する。(第二志望まで記載できる。異なる学部を志望することもできる。)
- ② 出願後の志望学部・学科等の変更は認めない。
- ③ 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

(2) 出願期間

平成22年9月6日(月)から9月9日(木)まで【必着】
ただし、9月8日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

(3) 出願方法

出願書類を一括して、必ず本学所定の出願用封筒を用い、「書留速達」で下記あてに郵送すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試チーム

(4) 提出書類等

A O 入 試 願 書	本学所定の用紙
調 査 書	高等学校長が作成し、厳封したもの。
志 望 理 由 書	本学所定の用紙
活 動 報 告 書	本学所定の用紙
検 定 料 (納 入 済 票)	17,000 円 [ゆうちょ銀行以外の金融機関で本学所定の振込依頼書により支払うこと。ご依頼人名義欄は必ず受験生の氏名を記入すること。振込依頼書の納入済票(大学提出用)部分のみを切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付すること。国外から出願する場合は、日本の通貨(円)に換金してから振込むこと。] ※ 1 第1次選考の不合格者に対しては、所定の手続きにより13,000円を返還する。 2 上記の1に該当する者は、平成23年2月28日までに請求すること。 (請求書類は第1次選考結果通知書に同封する。) なお、上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しない。
受 験 票 返 送 用 封 筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先を明記して、350円分(定形郵便80円+速達郵便270円)の切手を貼ること。
あて名シール2枚	合格通知等の送付に使用するので、確実に連絡が取れる住所を明記すること。

(5) 心身に障害等のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上及び修学上、特別の措置を必要とする者（点字又は代筆による解答を希望する者を含む。）については、事前相談を行うので、原則として平成22年8月27日（金）までに本学入試チームに申し出てください。その際、「受験特別措置事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。

なお、措置の内容によっては、直ちに対応できない場合もありますのでご了承ください。また、特別措置を講じる必要がないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。

4. 選 抜 方 法

選考は、次の第1次選考・第2次選考に分けて行う。

(1) 第 1 次 選 考

出願書類による書類選考を行い、平成22年10月6日（水）に、その合格者には「第1次選考合格通知書」を、合格とならなかった者には「第1次選考結果通知書」及び「検定料返還請求書」を郵送（速達）する。

また、同日正午に入試チームホームページにも第1次選考合格者の受験番号を掲載する。

入試チームホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

(2) 第 2 次 選 考

第1次選考合格者に対し、模擬講義（英語による講義を含む。）、討論、レポート、面接、小論文を平成22年10月22日（金）・23日（土）に行い、結果を総合して合否を判定する。

1日目	内 容
模擬講義 (日本語)	日本語による模擬講義の受講(文系・理系の計2講義) 受講した模擬講義に関するレポートの作成 受講した模擬講義についてのグループ討論 受講した講義テーマに関する小論文
2日目	内 容
模擬講義 (英語)	英語による模擬講義の受講(1講義) 英語による模擬講義に関するレポートの作成 (日本語で作成、辞書(電子式を除く)持ち込み可)
面 接	グループ面接 *志望学科・講座によっては、個別面接も行います。

(注) 第2次選考の日程の詳細については、「第1次選考合格通知書」に同封し通知する。

5. 大学入試センター試験の受験について

合格者は、所属学科が以下に指定する平成23年度大学入試センター試験の教科・科目を必ず受験すること。併せて、同センター試験出願の際に、「試験成績の本人開示」(請求)の手続きをしてください。

【文教育学部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が指定する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
人 文 学 科	国(国) 地歴(世B、日B、地理A、地理Bから1) 公民(現社、倫理、政・経から1) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英・リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	6教科 7科目
言 語 文 化 学 科	国(国) 地歴(世B、日B、地理A、地理Bから1) 公民(現社、倫理、政・経から1) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英・リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	6教科 7科目
人 間 社 会 学 科	国(国) 地歴(世B、日B、地理A、地理Bから1) 公民(現社、倫理、政・経から1) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英・リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	6教科 7科目

【理 学 部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が指定する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
数 学 科	国(国) 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B) } から1 公民(現社、倫理、政・経) } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外(英・リスニングを含む一、独、仏から1)	5教科 7科目
物 理 学 科	国(国) 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B) } から1 公民(現社、倫理、政・経) } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ)と(化Ⅰ、生Ⅰから1) 外(英・リスニングを含む一)	5教科 7科目
化 学 科	国(国) 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B) } から1 公民(現社、倫理、政・経) } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(化Ⅰ)と(物Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英・リスニングを含む一)	5教科 7科目
生 物 学 科	国(国) 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B) } から1 公民(現社、倫理、政・経) } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(生Ⅰ)と(物Ⅰ、化Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英・リスニングを含む一、独、仏から1)	5教科 7科目
情 報 学 科	国(国) 地歴(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B) } から1 公民(現社、倫理、政・経) } 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外(英・リスニングを含む一、独、仏から1)	5教科 7科目

【生活科学部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が 指 定 す る 教 科 ・ 科 目 名	受験を要する 教科・科目数
食 物 栄 養 学 科	国 (国) 地歴 (世B、日B、地理B) 公民 (現社、倫理、政・経) } から1 数 (数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理 (物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外 (英-リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目
人 間 ・ 環 境 科 学 科	国 (国) 地歴 (世B、日B、地理B) 公民 (現社、倫理、政・経) } から1 数 (数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理 (物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外 (英-リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目
人 間 生 活 学 科	国 (国) 地歴 (世B、日B、地理Bから1) 公民 (現社、倫理、政・経から1) 数 (数Ⅰ・数A) と (数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理 (理総A、理総B、物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外 (英-リスニングを含む一、独、仏、中から1)	6教科 7科目

*印科目の受験資格

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。

6. 合格発表等

- (1) 合格者の発表
平成22年10月27日(水)正午
本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を郵送(速達)する。
また、本学入試チームホームページにも合格者の受験番号を掲載する。
電話等による合否の問い合わせには一切応じない。
入試チームホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>
- (2) 合格者は、AO入試の入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、一般入試(前期日程・後期日程)を受験しても本学及び他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/nyushi/>)参照。以下同じ)の入学許可は得られないので、注意すること。
- (3) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、AO入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達される。
- (4) 合格者には、入学前の時期を有効に活かすための入学前指導(12月上旬予定の本学における研修を含む)を行います。詳細は合格発表後にお知らせします。

7. 個人情報及び試験成績の利用について

- (1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料免除、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

8. 入学手続

- (1) 合格者に送付される「入学手続関係書類」により手続を行うこと。
 - ① 入 学 料 282,000円 (予定額)
 - ② 授 業 料 前期分 267,900円(年額 535,800円) (予定額)
(入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。また、前期分の授業料を下記入学手続期間中に納付しない場合は、4月1日から30日までの間に納入することになる。)
 - ③ 入学手続期間 平成22年12月10日(金)～12月16日(木)に郵送により行う。
- (注) 1 入学手続が受付期間内に完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱う。
2 入学料及び授業料の免除については、15ページの「2. 入学料免除と授業料免除」を参照のこと。
3 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。
- (2) 入学手続者が極めて特殊な事情により入学を辞退する場合は、平成23年1月31日(月)までに、その理由を付した本学学長あての「AO入試辞退願」(様式任意)を入試チームに提出すること。
入学辞退が許可されない場合には、本学及び他の国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験しても入学許可は得られないので注意すること。

9. 注 意 事 項

不合格となった場合は、国立大学への受験については、推薦入試の大学・学部から1つ、一般入試の前期日程の大学・学部から1つ、後期日程の大学・学部から1つの合計3つの大学・学部に出願することができる。
出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等が異なる場合があるので特に注意すること。
本学に出願する場合は、別途「平成23年度お茶の水女子大学特別入試募集要項」、「平成23年度お茶の水女子大学学生募集要項」(いずれも9月下旬から配布予定)により、下記期間内に手続きすること。

[推薦入試出願期間] 平成22年11月1日(月)から11月5日(金)まで
[一般入試出願期間] 平成23年1月24日(月)から2月2日(水)まで

[送付先] 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
お茶の水女子大学 入試チーム

10. 調査書の開示について

本学の平成23年度AO入試の出願書類として提出された調査書の開示を下記のとおり行います。

1 開示内容

調査書の「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」を除き開示します。

2 申請者

受験者本人に限ります。（代理人による申請は認めません。）

3 申請方法

①窓口受付

本学AO入試受験票、印鑑及び返信用封筒（本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、510円分（普通郵便90円＋書留料金420円）の切手を貼った長形3号（12.0cm×23.5cm）を持参の上、備付の申請用紙に必要事項を記入し、申請してください。

②郵送受付

入学試験成績開示申請書、本学AO受験票及び返信用封筒（本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、510円分（普通郵便90円＋書留料金420円）切手を貼った長形3号（12.0cm×23.5cm）を同封の上、本学入試チーム宛郵送してください。

なお、申請書は本学入試チームホームページからダウンロードすることができます。

4 申請期間

平成23年5月2日（月）～平成23年6月30日（木）

5 開示方法

平成23年7月末までに受験者本人へ書留郵便で送付します。

（注） 本学AO入試受験票を提示できない場合は、開示しませんのでご注意ください。

11. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」に記載されていますので、次のとおり請求してください。

(1) 大学のホームページから請求する場合


大学のホームページからテレメールを利用して大学案内の請求ができます。
詳しくは、入試チームホームページをご覧ください。（<http://www.ao.ocha.ac.jp/>）

(2) インターネット（パソコン・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合

①下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。



テレメール

インターネット（パソコン・携帯電話）の場合	電話の場合
<p>http://telemail.jp （パソコン、携帯電話各社共通）</p>  <p>QRコード （対応する携帯電話で読み取れます。）</p>	IP電話 050-8601-0101

※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

②お茶の水女子大学資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

大 学 案 内	5 6 2 3 7 2
---------	-------------

③あとは音声ガイダンスに従って登録してください。

*受付から2, 3日程で送付されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら、一斉に郵送します。

*住所、名前の登録時には、ゆっくりはっきりと自分の声で吹き込んでください。登録された音声の不鮮明な場合は到着まで時間がかかる場合があります。

*一度ご利用になられた暗証番号（4桁）は必ずひかえておいてください。送料をお支払いいただく際に必要になります。また、テレメールを繰り返しご利用いただく時にも便利です。

*送料は、お届けした資料に同封されている支払い方法に従いお支払いください。

*募集要項（願書）の請求は、出願締め切りの約7日前までの取扱いとなりますので注意してください。

上記 (1)、(2)の請求方法についてのお問合せ先

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)
--

12. 平成24年度以降AO入試に関する変更の予告

(1) 平成24年度より生活科学部の出願資格を以下のとおり変更する。

生活科学部	食物栄養学科	次の指定科目について、履修し単位を得ているか、もしくは入学時までには単位を修得見込みであるもの。 指定科目：数学Ⅰ・Ⅱ・A・B。〔物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ〕から2科目。
	人間・環境科学科	次の指定科目について、履修し単位を得ているか、もしくは入学時までには単位を修得見込みであるもの。 指定科目：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C。〔物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ、地学Ⅰ・Ⅱ〕から2科目。
	人間生活学科	特になし。

(2) 平成24年度AO入試における大学入試センター試験の受験について

合格者は、所属学科が以下に指定する平成24年度大学入試センター試験の教科・科目を必ず受験すること。併せて、同センター試験出願の際に、「試験成績の本人開示」(請求)の手続きをしてください。

【文教育学部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が指定する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
人文科学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」から2) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	5教科 7科目
言語文化学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」から2) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	5教科 7科目
人間社会科学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」から2) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	5教科 7科目

【理 学 部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が指定する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
数 学 科	国(国) 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」)から1 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外(英-リスニングを含む一、独、仏から1)	5教科 7科目
物 理 学 科	国(国) 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」)から1 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ)と(化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一)	5教科 7科目
化 学 科	国(国) 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」)から1 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(化Ⅰ)と(物Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一)	5教科 7科目
生 物 学 科	国(国) 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」)から1 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(生Ⅰ)と(物Ⅰ、化Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏から1)	5教科 7科目
情 報 学 科	国(国) 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」)から1 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外(英-リスニングを含む一、独、仏から1)	5教科 7科目

【生活科学部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が指定する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
食物栄養学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」から1) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰから2) 外(英→リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目
人間・環境科学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」から1) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外(英→リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目
人間生活学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫理、政・経、「倫理、政・経」から2) [注1] 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英→リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目

*印科目の受験資格

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。

[注] 1 文教育学部の全学科及び生活科学部「人間生活学科」の大学入試センター試験の地歴・公民では、地歴から1、公民から1の計2科目または地歴から2科目のいずれかの組み合わせとする。

(3) 平成25年度AO入試における大学入試センター試験の受験について

合格者は、所属学科が以下に指定する平成25年度大学入試センター試験の教科・科目を必ず受験すること。併せて、同センター試験出願の際に、「試験成績の本人開示」(請求)の手続きをしてください。

【文教育学部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が指定する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
人文学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、「倫理、政・経」から2) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	5教科 7科目
言語文化学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、「倫理、政・経」から2) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	5教科 7科目
人間社会科学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、「倫理、政・経」から2) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中、韓から1)	5教科 7科目

【生活科学部】

学 科 等	大学入試センター試験で各学科が指定する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
食物栄養学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、「倫理、政・経」から1) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰから2) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目
人間・環境科学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、「倫理、政・経」から1) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから2) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目
人間生活学科	国(国) 地歴・公民(世B、日B、地理B、「倫理、政・経」から2) 数(数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B、工*、簿・会*、情報*から1) 理(物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1) 外(英-リスニングを含む一、独、仏、中から1)	5教科 7科目

*印科目の受験資格

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。

IV その他の案内

奨学金、入学料免除、授業料免除、学生宿舎等

1. **奨学金** (本学HPトップ→入試情報→「奨学金」からも情報が見られます)

人物・学業ともに優秀かつ健康であって経済的理由により著しく修学に困難があると認められる者には選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。現在、第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)の2種類があります。新たに貸与を希望する者は4月中に募集の掲示を行いますので学生支援チーム (Tel.03-5978-5148)に照会してください。

外国人留学生の奨学金については、国際交流チーム (Tel.03-5978-5143)に照会してください。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生支援チームに照会してください。

2. **入学料免除と授業料免除** (本学HPトップ→入試情報→「入学料・授業料の免除」からも情報が見られます)

注意事項 入学料及び授業料を納付済の者は免除・猶予の対象となりません。

1) 入学料免除の制度と申請資格について

①入学料免除の対象者

経済的理由により、入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または、次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、または本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

b aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

②免除額について

入学料の免除が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額または半額を免除します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

一般入試前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については3)を参照してください。

2) 授業料免除の制度と申請資格について

①授業料免除の対象者

経済的理由により、授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

②免除額について

授業料の免除が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額または半額を免除します。不許可となる場合もあります。

③申請時期

免除は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします。(申請時期は3月と9月)

3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について

①徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料または授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または、次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 本学学生またはその学資負担者が災害を受け、納付困難と認められる場合

b その他やむを得ない事情があると認められる場合

②猶予期間について

入学料または授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(30日が土、日祝日の場合は、その前の平日までとなります。)

③申請時期

入学料徴収猶予 一般入試前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日まで)

3. **学生宿舎** (本学HPトップ→入試情報→「学生宿舎」からも情報が見られます)

本学には、来年度完成予定の新寮を含めて学部生の入居できる2つの学生宿舎がありますが、入居希望者が多数の場合は選考を行いますので、ご了承ください。本学ホームページには国際学生宿舎の写真付き案内がありますのでそちらもご覧ください。

名称	所在地	定員	居室	寮費	対象学生	入寮資格	選考方法
国際学生宿舎	板橋区仲町	399人	個室	寄宿料4,700円 その他合計約12,000円	学部生 留学生	実家より通学に2時間以上かかること (航空機及び新幹線等は使用しないで考える)	家庭の経済状況 (収入証明書等の提出が必要です)
新寮(仮称) 2011年3月完成予定	文京区大塚	50人	個室 (ユニット)	30,000円(予定) 他、光熱水費等負担	学部 1,2年生 (留学生含む)		

* 学生寮では食事の提供は行っておりません

4. **入学料・授業料免除と学生宿舎の申請手続きについて**

(1) 申請書の入手方法について

以下のいずれかの方法により、申請書類を入手してください。

1. お茶の水女子大学ホームページからダウンロードする。(推奨)
免除及び宿舎関係申請書類については、2月上旬に掲載予定です。

2. 合格発表後に郵送する「入学試験合格者への連絡事項」の巻末にある別紙「入学料免除(授業料免除)等関係書類請求書」に所要事項を記載し、次に該当する切手を貼った返信用封筒(角形2号 24.0cm×33.2cm)を同封のうえ、請求する。

1種類の請求 200円切手

2種類以上の請求 240円切手

請求する封筒左下に「〇〇関係書類請求」と朱書きしてください。

申請書類請求期間 平成23年2月1日(火)～平成23年2月28日(月)

※ダウンロードは3月中にも対応しています。(ただし申請の期限の日まで)

(2) 問い合わせ先及び請求先

お茶の水女子大学学生支援チーム 入学料・授業料免除・学生宿舎担当 TEL03-5978-2646
メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. **下宿・貸間の紹介**

大学周辺の貸間代は、一畳当たり約7千円から1万円見当ですが、アパート形式が多く下宿(食事付き)はほとんどありません。

大学周辺の貸間等の情報については、いつでも学生支援チームで資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえませんので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。

また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。(優遇あり)。

7. 交通案内

最寄り駅等 { 地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅 から徒歩 約7分
 地下鉄 有楽町線 護国寺駅 (5番口) から徒歩 約8分
 都営バス 大塚2丁目停留所前

◎ J R 池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕 ――― 約5分 ―――→ 茗荷谷駅 下車
 有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕 ――― 約4分 ―――→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口 乗車〔東京ドームシティ行〕 ――― 約20分 ―――→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02乙番)

◎ J R 大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口 乗車〔錦糸町駅前行〕 ――― 約10分 ―――→ 大塚2丁目停留所下車
 (都02番)

◎ J R 東京駅又は J R 御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕 ― 約5分 ― 御茶ノ水駅 ― 約6分 ―→ 茗荷谷駅下車

